

前例がない!!

北海道日本海側港湾と本州太平洋側港湾を結ぶコンテナ航路

石狩湾新港に新たな航路が開設!!

令和8年3月、DP World Japan株式会社が物流管理を担い、一条工務店グループが国内物流を担当することで新たな物流網が実現しました。この物流網において、内航輸送を担う井本商運株式会社が、新たな定期コンテナ航路を開設し、石狩湾新港と仙台塩釜港を週1便で結びます。本サービスは、現時点で、石狩湾新港(月)→仙台塩釜港(木)→八戸港(金)→石狩湾新港(月)のルートで運航しています。

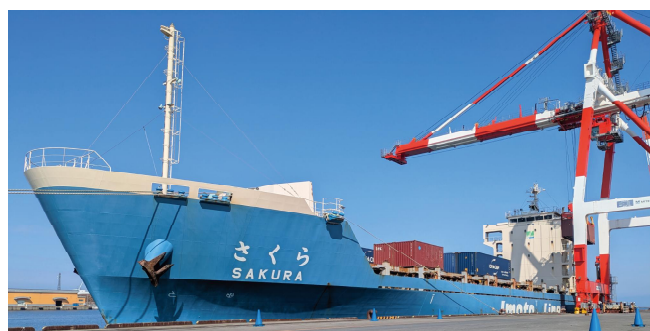
本航路の開設は、株式会社一条工務店の住宅用建材が、フィリピンから仙台塩釜港を経由して本港へ輸送する、物流の効率化等を背景としています。

本航路と、CMA-CGM社が運航する仙台塩釜港と中国南部・フィリピンを結ぶ航路を活用することにより、首都圏や東南アジア等と北海道との効率的な輸移出入が期待されます。また、運航する船舶には、リーファーコンテナのプラグが約80口備わっており、多くの農水産物を鮮度保持した状態で輸送が可能で

す。北海道日本海側港湾と本州太平洋側港湾を結ぶ、これまでに、前例のない航路の開設により、輸送ルートの選択肢が広がるとともに、陸上輸送コストの縮減等を含め、荷主様の物流効率化に繋がるほか、モーダルシフトの推進によるトラックドライバー不足の解消や環境負荷の低減など、将来を見据えた大きな効果があるものと期待しています。

船舶代理店: 日本通運株式会社EASTカンパニー
ロジスティクス第四部
小樽物流事業所 石狩湾新港営業課
TEL 0133-74-8844

主な運航船舶の概要



船名	総トン数	全長	幅
さくら	2,507トン	111.4m	17.8m
積載能力	リーファーコンテナ積載能力	建造	
402TEU	82口	2016/8	

石狩湾新港 定期コンテナ航路図



仙台塩釜港で開始されたサービス

運航会社
CMA-CGM (CNC JP8サービス)
寄港地
仙台塩釜→東京→御前崎→
【中国: 厦門→汕頭→蛇口→南沙】→
【フィリピン: セブ→バタンガス→マニラ南】



▲石狩湾新港と仙台塩釜港を結ぶ定期コンテナ船就航の記念式典
DPワールドジャパン藤江社長(左から3人目)と井本商運井本社長(左から5人目)

就航している外貿定期コンテナ航路

韓国航路: 週1便(水)

興亜LINE(Heung-A-Line)

船舶代理店: 日本通運株式会社EASTカンパニーロジスティクス第四部
小樽物流事業所 石狩湾新港営業課 TEL 0133-74-8844

長錦商船(SINOKOR)

船舶代理店: 株式会社栗林商会札幌支社 TEL 011-231-8171

中国・韓国航路: 週2便(月/木)

高麗海運(KMTC)

船舶代理店: ナラサキスタックス株式会社 苫小牧港CY事務所
TEL 0145-26-8511

南星海運(NAMSUNG)

船舶代理店: 株式会社栗林商会札幌支社 TEL 011-231-8171

国際物流総合展2026に出展! 石狩湾新港の魅力を全国へ発信

当組合では、本港の国際物流拠点としての魅力を全国の荷主・物流事業者等へ発信するため、令和8年4月にインテックス大阪で開催された「第7回関西物流展」に出展するなど、積極的に物流展示会へ参加しています。

今後も、9月8日(火)から11日(金)まで東京ビッグサイトで開催される「国際物流総合展2026」に札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会(※補足)の一員として出展します。この展示会は、最新の物流機器・システム・ソリューションや全国の港湾・物流拠点が一堂に会する物流・ロジスティクス分野として、国内最大級です。

展示ブースでは、本港の利便性や後背地の石狩湾新港地域における立地状況など最新情報をご紹介します。ぜひお立ち寄りください。ご来場お待ちしております!!

※補足:石狩湾新港地域における産業集積の形成及び活性化を図ることを目的に、北海道、小樽市、石狩市、石狩開発株式会社、石狩湾新港管理組合で構成する団体。



▲過去の出展の様子

TOPICS!!

国内最大級ケーブル敷設船の母港に

当組合は、本年3月30日、東洋建設株式会社と同社が建造する国内最大級の自航式ケーブル敷設船の母港を石狩湾新港とすることに関して協定を締結しました。これにより、同社のケーブル敷設船は、令和8年10月1日から本港を母港として利用します。同社は、本港を母港に選んだ理由を、将来の洋上風力発電事業における地理的優位性と話しています。



祝 外航商船9,000隻達成!!

本港では、平成6年6月に関税法上の開港指定を受けてから、累計9,000隻目となる外航商船が令和8年4月29日に入港しました。

記念すべき節目を飾った船舶は、北海道電力株式会社が液化天然ガス(LNG)を調達するために手配した「Asia・Excellence」です。前日には、当組合橋本専任副管理者から、同社へ記念の盾を贈呈するとともに、「これまで本港は、北海道のエネルギー供給を支える重要な拠点として、LNG船をはじめとする外航商船の安全かつ円滑な入港に努めてきました。今後も関係機関と連携し、北海道のエネルギー供給拠点として、安全な入出港を支えてまいります。」とあいさつをしました。



▲北海道電力石狩湾新港発電所石川所長へ記念盾を贈呈

**ぶ・ら・り
しんこう
の旅**
石狩湾新港の魅力を伝える、ぶらりしんこうの旅
今年の4月から当組合に配属となった港湾勉強中の
私が、地域の魅力や気になる情報をお届けします。
今回は、石狩湾の新鮮な海の幸がズラリと並ぶ
「いしかり湾新港朝市」を紹介します。

は6月中旬頃まで。6月下旬頃からはタコなどが販売されるよ」そう教えてくれたのは、朝市の漁師さん。私は時季ごとに異なる海の幸が楽しめるのも朝市の魅力だと感じました。

すると漁師さんが「食べてみて」と、試食の浜ゆでシャコをゆび指しました。間もなく、口の中でジューシーに広がる濃厚な甘さと旨味、すごく美味しく、お酒のあてに購入しました!

漁師さんいわく、「最近ではアジア圏のお客さんが蟹を購入しによく訪れるようになった」とのこと。海外の方も足を運んでいることに驚きました!朝市は7月上旬まで開催されており、土日は特に賑わう。

一つの港の中で、国際物流を担うコンテナ船が行き交い、LNG船がエネルギー資源を運び様々な発電所が電気を生み出している。こんなにも多彩な営みが共存しているのも石狩湾新港の魅力だと実感しながら、この味を日本全国、いや、世界中に届けられたら、と思いました。次回もマリンプレスでしかお知らせできない情報をお届けします。お楽しみに!!

夏も近づいたある日、風になびくのぼりに導かれ、歩み寄った先には、石狩湾新港東埠頭で開催されている「いしかり湾新港朝市」。

その店先には、新鮮なワタリガニ・シャコ・カレイ・ヒラメなどが並んでいました。「ワタリガニとシャコ

